



ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
リジョン・チェアパーソン各位
ゾーン・チェアパーソン各位
委員会委員長、副委員長、委員各位
クラブ会長、幹事、会計各位

2007/10/9

ライオンズクラブ国際協会
330-A 地区
ガバナー L 飯田 義彦
献眼・献腎・骨髄移植推進委員会
委員長 L 水上良文

アイバンク協会認定サポーター養成講座に協力をお願いについて

拝啓 行楽の秋、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、角膜移植が行われて50年を迎えます。現在角膜移植を希望され申し込みをされている方は、全国で、約4,000余名おり、東京の4箇所のアイバンク協会には522名の申し込みを頂いております。

開設以来の献眼数は、全国で48,811眼であり、東京では11,037眼で、毎年全国で1,500眼の角膜移植が行われ、これにより目が見えるようになった人々の喜びは大変大きなものがあります。

(財)日本アイバンク協会は、視力障害者の福祉という崇高な社会使命を帯びながら43年を経過しておりますが、設立当時より全国54のアイバンクの運営は、地元のライオンズクラブ会員のご指導ご支援により、献眼運動は順調に進展いたしており、330-A 地区にもサポーター 227名の方々のご支援をいただいております。

講習会には是非ご参加頂き、サポーターとして東京の、そして、全日本の目の不自由な方に1日も早く光を与えようではありませんか。

来る11月9日(金)のご参加を心よりお待ちしております

敬具

.....
連絡先

委員長	L 水上 良文	TEL042-491-2657	FAX042-493-6677
副委員長	L 天間 勝治	TEL03-5968-3350	FAX03-3977-5353

アイバンク協会認定サポーター養成講座

プ ロ グ ラ ム

日 時 平成19年11月9日（金） 13:00～16:30
会 場 憲 政 記 念 館 千代田区永田町1-1-1

講 習 会 次 第

司会 副委員長 L天間 勝治
開会の挨拶 献眼、献腎、骨髄移植推進委員会
副委員長 L渋谷 俊徳
委員長挨拶 // L水上 良文
ご来賓挨拶 (財) 日本アイバンク協会常務理事 L池崎 道男

講師のご紹介 司会者

講師 金井 淳 先生
昭和43年 順天堂大学大学院医学研究科 卒業
平14年～平19・3順天堂東京江東高齢者医療センター副院長
現在 順天堂大学医学部名誉教授
日本アイバンク協会常務理事

講師 厚沢 弘陳 先生
(株) アツザワ・プロテアゼ代表取締役
米国、義眼師協会会員
元、コンタクトレンズ協会会長
東京関東ライオンズクラブ元会長、ライオン暦47年

第一部 角膜移植について 講 習 金井 淳 先生

休 憩

第二部 目、そして義眼とアイバンク 厚沢 弘陳 先生

質 問

閉会の挨拶 献眼、献腎、骨髄移植推進委員 副委員長 L下平 茂治

講習会終了

サポーター講習会について

サポーターの仕事として献眼運動の推進はもちろんですが、アイバンク協会スタッフ等が現状に密着した病院開発を行ったり、登録者または遺族の方への献眼提供への理解と協力を得たり、献眼に至った場合にこれらをサポートすることを業務とします。

スタッフはアイバンク従事者を育成しますが、サポーターは各地域で活躍している奉仕・支援団体のみなさんに奉仕のひとつとして活躍していただくものです。各アイバンクにより献眼数に差はありますが、1件でも献眼があればサポーターは必要となります。また、献眼がなくても日ごろの普及活動の積み重ねが重要となりますのでサポーターの人数は多ければ多いほど良いということになります。

スタッフとサポーターの仕事は重複する部分もありますが、大きな違いはスタッフは医学、法律上必要とされる専門的知識が必要になりますが、サポーターは遺族にとって知りたいことを的確に伝えられるようになるとともに、献眼運動の際に“やってはいけないこと”を重点的に学び、より多くの一般の人と接し、献眼に対する理解と協力を得ることです。サポーターの履修内容は下記に記載したとおりですが、将来的には各地域に多くのサポーターが存在し、アイバンクの献眼推進運動に積極的に参加していただくことを目標にしております。奉仕・支援団体のライオンズクラブは、クラブとしての任期は1年ですが協会認定のサポーターに認定されれば3年間はサポーターとして委嘱しますので、その間は積極的に活動していただくことになります。

<サポーターの趣旨について>

現在アイバンク協会認定スタッフなどの従事者が、角膜移植普及啓発活動を行っているが、その活動を支える人々の協力が不可欠である。このため、角膜移植普及啓発に関して必要な知識を習得した人々を協会認定サポーターとして認定し、これらの認定サポーターがアイバンク協会認定スタッフを補助し、角膜移植普及啓発活動の一層の推進に貢献されることを期待している。

<サポーターの履修(役割)内容について>

- (1) 献眼運動の推進(財政的支援も含む)
- (2) アイバンクの依頼による以下の業務
 - (ア) アイバンクスタッフ、摘出医の送迎
 - (イ) 機材の運搬
 - (ウ) 提供時の家族の同意の確認
 - (エ) 提供眼球、検体の搬送
 - (オ) 提供家族に対する儀礼
 - (カ) アイバンク支援団体との連携
 - (キ) その他、委員会の定める内容

<受講回数と認定について>

- 1 サポーターは、二層構成とし、チーフサポーターとサポーターに分ける。
- 2 チーフサポーターとして認定を受けるためには、東京で開催する講習会と各地で開催する講習会を各1回受講しなければならない。また、認定期間は3年であるが更新するには、認定期間中に1回の講習会受講を義務付けることとする。
- 3 サポーターとして認定を受けるためには、各地で開催する講習会を1回受講しなければならない。また、認定期間は3年であるが、認定期間中に1回の講習会受講を義務付けることとする。
- 4 講習会がアイバンク協会以外の団体の主催であっても、アイバンク協会認定サポーター制度委員が講師として派遣されている場合には、協会のサポーターとして認定証を発行する。

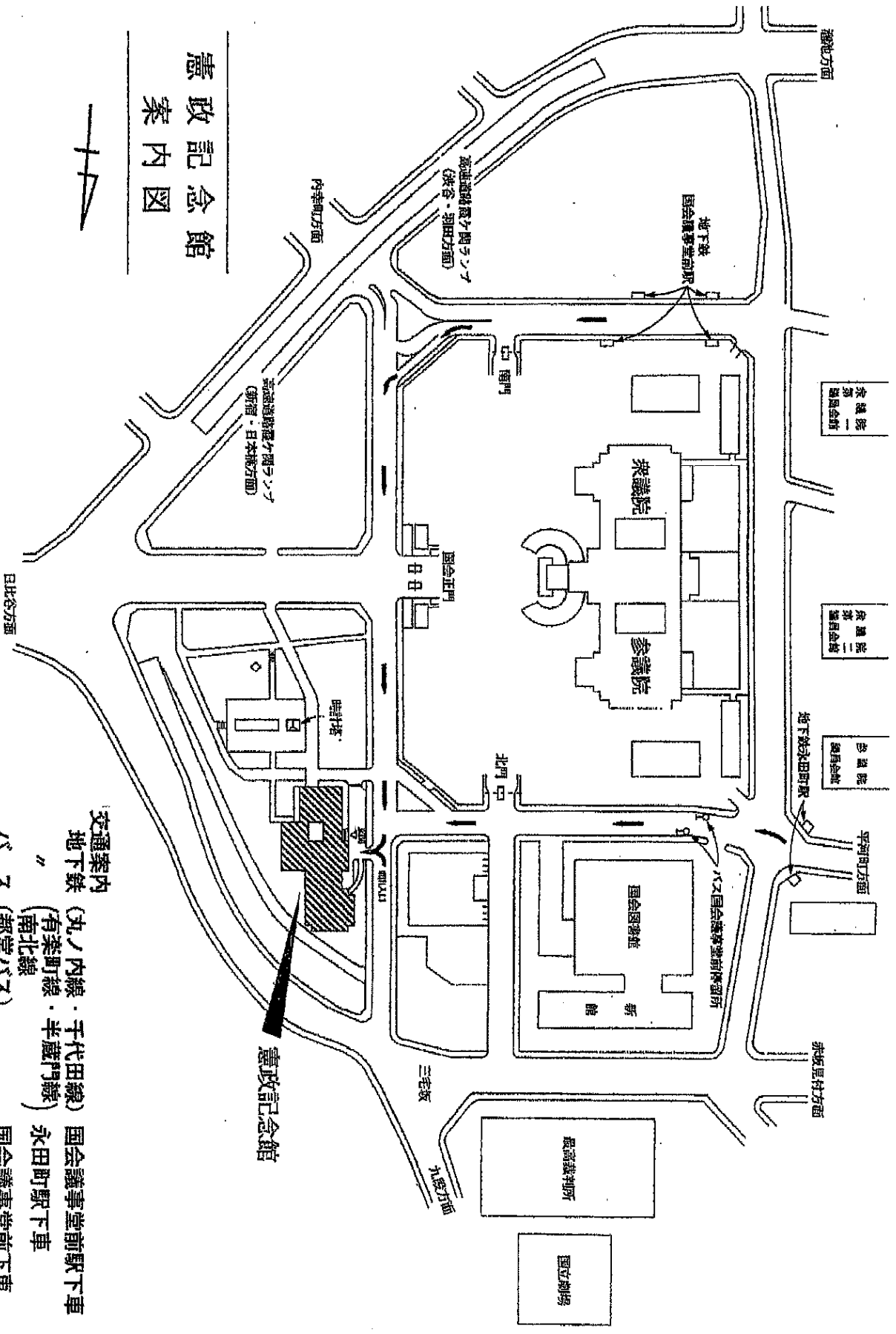
<受講料について>

1人 3,000円(資料・認定証含む)

<その他>

受講者は受付に名刺を提出すること。

財団法人 日本アイバンク協会
事務局(長尾)
TEL 03-3293-6616
FAX 03-3293-5140



憲政記念館 案内図



交通案内
 地下鉄 (丸ノ内線・千代田線) 国会議事堂前駅下車
 " (有楽町線・半蔵門線) 永田町駅下車
 バス (都営バス) 国会議事堂前下車